

## さっそくヘルパー労組連絡会結成の反応

ヘルパーさんより電話、私も協力したい

ヘルパー労組連絡会結成の記事を見たヘルパーさんから、会長が勤務するヘルパーステーションに連絡がありました。

その方は、現在働いている中で「私はもっと学習をしてスキルアップしたいが、職場ではしなくていいと言われている。」という矛盾や悩みを話されていました。そして、私もこのような連絡会に協力していきたいという嬉しい声も聞くことができました。

## 2009春闘状況

### 生協労連

生協労連の単組では4/20(月)、「福祉介護部会」の独自団交を開催。介護報酬改定も受けての賃金底上げや、各職場マネジメントの改善と標準化、そして介護保険制度改善への労使共闘などを追求しました。交渉では、改定の主旨をふまえ生協理事会としても改定(賃上げ)したいが、福祉事業は黒字化できていない。事業状況と2012年の報酬改定に向けた状況を見ると厳しく、一律ベースアップは困難、と説明。この日は賃金回答の具体化には至りませんでした。引き続き要求の具体的な前進に向けてがんばっていきます。

### 福保労



Z分会…年末年始手当 3,000 円から 3,500 円の有額回答。介護報酬 3%、障害者自立支援の報酬単価 5.1%では、実質 1%アップとなっている。アップ分については、今後手当などで検討。

K分会…介護夜勤手当 500 円アップ。4,500 円→5,000 円(施設)、3,000 円→3,500 円(グループホーム) 厨房職員早朝手当 1 回 1,500 円(新規)。介護福祉士資格手当 5,000 円(非常勤のみ) 正規との格差解消のため。サービス提供責任者 2 名を常勤化

# 一堺介護セミナー「介護報酬学習会」開催一

3月15日（日）サンスクエア堺にて堺ヘルパー懇談会主催の「介護報酬改定でヘルパー、ケアマネはどうなる」と題して介護セミナーが開催され、46名が参加しました。

学習会は、講師に福祉・介護オンブズネットおおさかの日下部 雅喜さんを迎え、09介護報酬見直しの問題点と、同じくこの春より改定された要介護認定について話を聞きました。話を聞けば聞くほど今回の改定は介護従事者の待遇改善につながらず、介護認定改定にいたっては認定を軽度化する中身であり利用者の実態を無視した内容になっていることが明らかとなりました。参加者からは「まったく明るい話がない」との声も…

その後は、グループワークを行い介護職場の厳しい状況がどの職場からもだされました。その中でも利用者のことを考え頑張っている参加者の皆さん、一人で悩まずみんなで集まることの大切さを感じました。

要介護認定の改定で調査員の判断ではなく選択というところでコンピューター判定は、ばらつきがなくなると思うが軽度になるのは利用者さんにとってはいかなものかと思う。

今回は介護者の立場での報酬改定だということがわかった。



視野を広げる機会となりました。  
ありがとうございました。

訪問介護事業所で働くヘルパーには頭の痛いままのような気がします。

もう少し“やりがい”のある仕事として気持ちがあがるようになればと思います。難しい・・・

☆具体的で理解しやすかったです。

## 感想

もともと今回の改定については明るい内容でないと思っていましたが、加算についても利用者負担になっていくことなど逆に暗い…人材確保も…？

少しでも明るい内容をさがせばいいのですが、セミナーに参加させて頂きどうにかしてヘルパーにもよく利用者にとってもよい方向性をみだしていければと思いました。



介護認定調査のところ利用者のことを考えてくれない。事業所もこれから大変だと思います。

私達ヘルパーも訴えていかなければ、勉強しないといけません。